

Document made available under the Patent Cooperation Treaty (PCT)

International application number: PCT/JP04/019173

International filing date: 22 December 2004 (22.12.2004)

Document type: Certified copy of priority document

Document details: Country/Office: JP
Number: 2004-000221U
Filing date: 22 January 2004 (22.01.2004)

Date of receipt at the International Bureau: 24 March 2005 (24.03.2005)

Remark: Priority document submitted or transmitted to the International Bureau in compliance with Rule 17.1(a) or (b)



World Intellectual Property Organization (WIPO) - Geneva, Switzerland
Organisation Mondiale de la Propriété Intellectuelle (OMPI) - Genève, Suisse

31. 1. 2005

日 本 国 特 許 庁
JAPAN PATENT OFFICE

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出 願 年 月 日
Date of Application: 2 0 0 4 年 1 月 2 2 日

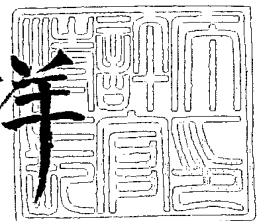
出 願 番 号
Application Number: 実 願 2 0 0 4 - 0 0 0 2 2 1
[ST. 10/C]: [J P 2 0 0 4 - 0 0 0 2 2 1 U]

出 願 人
Applicant(s): 株式会社オーバ

2 0 0 5 年 3 月 9 日

特許庁長官
Commissioner,
Japan Patent Office

小 川 洋



【書類名】 実用新案登録願
【整理番号】 OBH-5
【あて先】 特許庁長官殿
【考案者】
 【住所又は居所】 静岡県島田市船木 2 6 6 7 - 5
 【氏名】 大庭 俊司
【実用新案登録出願人】
 【識別番号】 599032176
 【氏名又は名称】 株式会社オーバ
【代理人】
 【識別番号】 100084076
 【弁理士】
 【氏名又は名称】 首藤 俊一
【納付年分】 第 1 年分から第 3 年分
【手数料の表示】
 【予納台帳番号】 208237
 【納付金額】 53,600円
【提出物件の目録】
 【物件名】 実用新案登録請求の範囲 1
 【物件名】 明細書 1
 【物件名】 図面 1
 【物件名】 要約書 1

【書類名】 実用新案登録請求の範囲**【請求項 1】**

便座の座面上を覆うように敷かれる便座シートペーパーにおいて、当該便座シートペーパーの外周縁の一部に当該外周縁の外方に向けて、少なくとも指先で摘める突出部を設けたことを特徴とする便座シートペーパー。

【請求項 2】

突出部は略 U 字状であることを特徴とする請求項 1 に記載の便座シートペーパー。

【請求項 3】

突出部は、便座に座った状態において、両足の間に位置するよう設けられたことを特徴とする請求項 1 又は請求項 2 に記載の便座シートペーパー。

【請求項 4】

便座シートペーパーは水溶性素材であることを特徴とする請求項 1 乃至請求項 3 の何れかに記載の便座シートペーパー。

【請求項 5】

便座シートペーパーは香気成分が含浸されていることを特徴とする請求項 1 乃至請求項 4 の何れかに記載の便座シートペーパー。

【請求項 6】

便座シートペーパーは還状に成形されたことを特徴とする請求項 1 乃至請求項 5 の何れかに記載の便座シートペーパー。

【請求項 7】

突出部は便座シートペーパーと一体に成形されたことを特徴とする請求項 1 乃至請求項 6 の何れかに記載の便座シートペーパー。

【請求項 8】

突出部は、別体に成形されて、便座シートペーパーに貼着されたことを特徴とする請求項 1 乃至請求項 6 の何れかに記載の便座シートペーパー。

【書類名】 明細書

【考案の名称】 便座シートペーパー

【技術分野】

【0 0 0 1】

本考案は便座に敷かれる便座シートペーパーに関するものである。

【背景技術】

【0 0 0 2】

急速に普及している洋式便器では、和式便器と異なって便座に直接座るものであることが、特に、不特定の者が頻繁に使用するデパートやホテル等において、衛生上或いは清潔感情の点から問題視されている。

【0 0 0 3】

これを解決する手段として、便座にペーパーを敷き変える方式が種々提案されている。例えば、実用新案登録第 3 0 1 3 4 7 7 号公報（実用新案文献 1）や実用新案登録第 3 0 7 2 6 4 8 号公報（実用新案文献 2）等がある。

しかし、何れにおいても、使用後には、便座上に敷かれた便座シートペーパーを引き剥がす必要があるが、

従来の便座シートペーパーでは、汗で湿って便座に張り付いてしまったり、敷かれた状態で便座シートペーパーがよじれて摘み所がなくなったりして、使用者に不快感を与えることが少なかった。

【実用新案文献 1】

【0 0 0 4】

実用新案登録第 3 0 1 3 4 7 7 号公報

【実用新案文献 2】

【0 0 0 5】

実用新案登録第 3 0 7 2 6 4 8 号公報

【考案の開示】

【考案が解決しようとする課題】

【0 0 0 6】

本考案は、使用済みの便座シートペーパーを便座から容易に引き剥がすことができる便座シートペーパーの提供を目的とする。

【課題を解決するための手段】

【0 0 0 7】

本考案は、便座の座面上を覆うように敷かれる便座シートペーパーにおいて、当該便座シートペーパーの外周縁の一部に当該外周縁の外方に向けて、少なくとも指先で摘める突出部を設けたことを特徴とする。

【0 0 0 8】

又、本考案は、突出部は略 U 字状であることを特徴とする。

【0 0 0 9】

又、本考案は、突出部は便座に座った状態において、両足の間に位置するように設けられたことを特徴とする。

【0 0 1 0】

又、本考案は、便座シートペーパーは水溶性素材であることを特徴とする。

【0 0 1 1】

又、本考案は、便座シートペーパーは香気成分が含浸されていることを特徴とする。

【0 0 1 2】

又、本考案は、便座シートペーパーは還状に成形されたことを特徴とする

【0 0 1 3】

又、本考案は、突出部は便座シートペーパーと一体に成形されたことを特徴とする。

【0 0 1 4】

又、本考案は、突出部は別体に成形されて、便座シートペーパーに貼着されたことを特

徴とする。

【考案の効果】

【0015】

本考案によれば、突出部を摘んで、使用済みの便座シートペーパーを便座から容易に引き剥がすことができる。

【0016】

又、本考案によれば、突出部が両足の間に位置するように設けているので、座った状態で容易に便座シートペーパーを摘むことができ、立ち上がる人の肌に便座シートペーパーが付くことを阻止することができる。

【0017】

又、本考案によれば、突出部が両足の間に位置、即ち、便座の形状に応じて略楕円形に成形された便座シートペーパーの長軸の一方側から、即ち前記長軸を中央とする便座シートペーパーを、その中央の長軸に沿って引き剥がすことにより、左右対称の便座シートペーパーを破損させることなく、容易に便座から引き剥がすことができる。

【0018】

又、本考案によれば、水溶性素材で成形されているため、引き剥がした後、そのまま便座シートペーパーを便器内に捨てることができる。

【0019】

又、本考案によれば、香気が含まれているので、気になる悪臭を押さえ、香気に包まれて快適に用を足すことができる。

【0020】

又、本考案によれば、便座シートペーパーが還状に成形されているので、一つの突出部を摘むことによって、全体を容易に引き剥がすことができる。

【0021】

又、本考案によれば、突出部が便座シートペーパーと一体に成形されているので、引き剥がす際の破損を抑制することができる。

【0022】

又、本考案によれば、別体に成形された突出部が便座シートペーパーに貼り付けられているので、貼り付け部位の強度が高まり、更に一段と引き剥がす際の破損を抑制することができる。

【考案を実施するための最良の形態】

【0023】

以下、本考案を実施するための最良の形態を実施例に基づいて説明する。

【実施例1】

【0024】

先ず、実施例1を図1に基づいて説明する。図1は平面図である。

図1において、図中の符号1は、便座の座面上を覆うように敷かれる便座シートペーパーであり、同図の左右方向を長軸にして楕円を描く還状に成形されている。長軸の右方向が使用者の正面方向であり、長軸の左方向が使用者の背面側となる。

【0025】

符号2は、便座シートペーパー1の外周縁の一部に当該外周縁の外方に向けて形成された突出部であり、少なくとも指先で摘める面積を持つよう突設されている。

図示の突出部2はその外周縁が略U字状に成形されているが、この形状に限らず適宜の形状、例えば四角形や三角形状としてもよい。

【0026】

図示の突出部2は、便座に座った状態において、前記長軸上における使用者の正面側に設けるのが最適であるが、勿論これに限らず、便座シートペーパー1の外周縁の一部に設けておけばよく、中でも、両足の間に位置するように設けておくのが好適である。

【0027】

このように、便座シートペーパー1に突出部2を設けておくと、突出部2を摘んで使用済

みの便座シートペーパーを便座から容易に引き剥がすことができる。

又、突出部 2 を座った人の両足の間、特に長軸上に位置するよう設けることによって、座った状態で容易に便座シートペーパーを摘むことができ、立ち上がる人の肌に便座シートペーパーが付くことを阻止できる。

【0028】

又、便座の形状に応じて略楕円形に成形された便座シートペーパー 1 の長軸の一方側から、即ち前記長軸を中央とする便座シートペーパー 1 の中央の長軸に沿って引き剥がすことができるので、左右対称の便座シートペーパーを破損させることなく、容易に便座から引き剥がすことができる。

【0029】

便座シートペーパーは、引き剥がした後、そのまま便器内に捨てることができるように水溶性素材で形成しておくといよい。又、便座シートペーパーは香気成分を含浸させておくと、トイレ内の気になる悪臭を押さえ、香気に包まれて快適に用を足すことができる。

【実施例 2】

【0030】

上記の実施例 1 では、突出部 2 が便座シートペーパー 1 と一体に成形されていたが、図 2 に示す実施例 2 は、突出部 2 を別体に成形して、便座シートペーパー 1 に貼着して、上記実施例 1 と同様に、突出部 2 を備えた便座シートペーパーを形成したものである。

【0031】

実施例 1 では、突出部 1 を一体に備えた便座シートペーパーを、例えば、所定の原紙からカットして成形するに当たり、突出部が存在する分、歩留まりが悪くなるが、この実施例 2 では、突出部を別体に成形してあるので、突出部のない還状の便座シートペーパーとしてカットすることができ、原紙からのカット成形において歩留まりが高まると共に、別体に形成された突出部を、還状の便座シートペーパー 1 に貼り付けるので、貼り付け部位の強度が高まり、更に一段と引き剥がす際の破損を抑制することができる。

【産業上の利用可能性】

【0032】

本考案は、家庭用の洋式便器のみならず、ホテル等衛生意識の高い公衆に提供する業務用の洋式便器に適用することができる。

【図面の簡単な説明】

【0033】

【図 1】 実施例 1 の便座シートペーパーの平面図である。

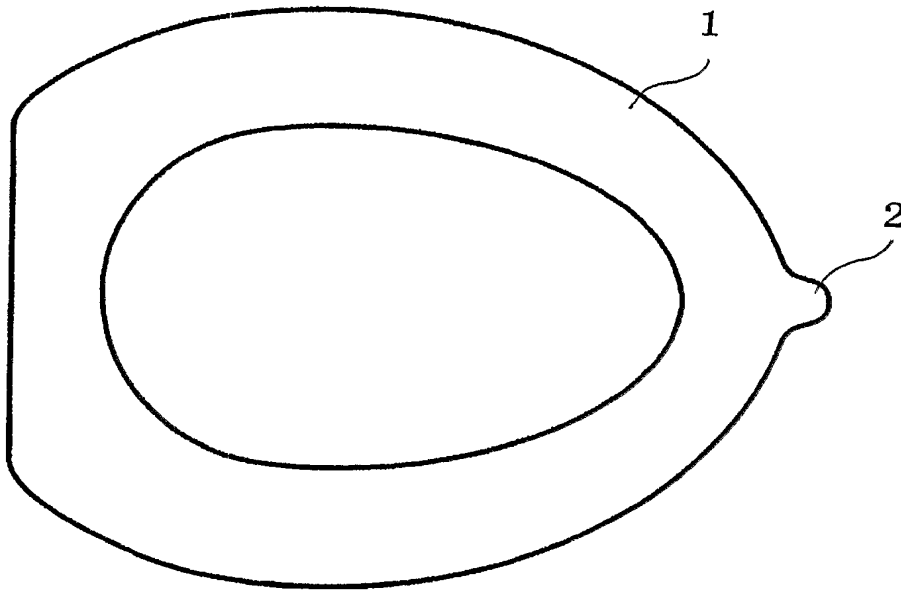
【図 2】 実施例 2 の便座シートペーパーの平面図である。

【符号の説明】

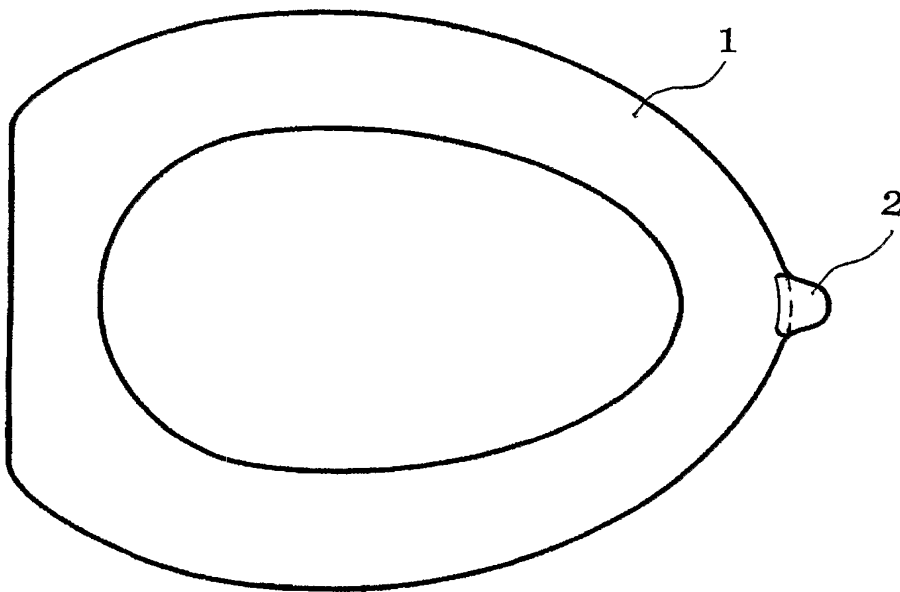
【0034】

- 1 便座シートペーパー
- 2 突出部

【書類名】 図面
【図 1】



【図 2】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 便座の座面上に敷かれた状態から破損させることなく容易に引き剥がすことができる便座シートペーパーの提供。

【解決手段】

本考案は、便座の座面上を覆うように敷かれる便座シートペーパーにおいて、当該便座シートペーパーの外周縁の一部に当該外周縁の外方に向けて、少なくとも指先で摘める突出部を設けたことを特徴とする。

又、その突出部は、便座に座った状態において、両足の間に位置するよう設けられたことを特徴とする。

【選択図】 図 1

認定・付加情報

実用新案登録出願の番号	実願 2 0 0 4 - 0 0 0 2 2 1
受付番号	5 0 4 0 0 1 0 1 0 5 9
書類名	実用新案登録願
担当官	第九担当上席 0 0 9 8
作成日	平成 1 6 年 3 月 3 日

< 認定情報・付加情報 >

【提出日】 平成16年 1月22日

実願 2 0 0 4 - 0 0 0 2 2 1

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [5 9 9 0 3 2 1 7 6]

1. 変更年月日	1 9 9 9 年 3 月 9 日
[変更理由]	新規登録
住 所	静岡県島田市船木 2 6 6 7 番地の 5
氏 名	株式会社オーバ